

基地騒音の住宅防音工事

国(横浜防衛施設局)では、厚木基地を離着陸する航空機の騒音を防止・軽減するために、住宅防音工事の助成を行っています。防音工事を希望し、まだ申し込んでいない方のため、次の要領で受付を行います。

新規など補助金助成

6月16日と17日 市役所で受付

まだ申し込んでいない方



新規 対象区域内で2室まで

●対象・助成室数

(1) 新規工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内(地図①・②部分)に昭和59年5月31日または昭和61年9月10日までに建てられた住宅で、これまで防音工事を実施していない住宅。▽助成室数 家族数に関係なく2室まで。

(2) 追加工事

▽対象 新規防音工事を実施した住宅。▽助成室数 家族数+1室(最高5室まで)から新規工事を実施した室数を除いた室数。

(3) 特定工事

▽対象 昭和59年5月31日に告示された区域内(地図①)東柏ヶ谷全域、柏ヶ谷の一部、上今泉六丁目の一部で、昭和59年6月から昭和61年9月10日までに建てられた住宅のうち、防音工事の

(4) 建替工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内で、過去に防音工事の助成を受け、工事後10年以上経過した住宅の建て替えを計画または建て替済みの住宅。ただし、建て替え前後の住宅に代替

(5) 防音区画改善工事

▽対象 住宅防音工事対象区域内で、次の①②③のいずれかに該当する住宅
①これから防音工事(新規・追加・特定・建替)を実施する

標準仕様で全額助成

超過した分は自己負担に

●補助金の額

いずれの場合も、国の定めた標準仕様により工事を行う場合は全額助成が受けられますが、室数に応じて一定の限度額があり、これを超過した額は自己負担となります。

●慎重に手続きを

住宅防音工事は、みなさんが横浜防衛施設局(国)に補助金の

●受付日程と注意事項

▽日時 6月16日(月)・17日

国の補助金交付決定後に着手へ

(火)午前10時~午後4時30分
▽場所 市役所2階会議室
▽注意事項 申し込みは原則として所有者または居住者が行ってください。集合住宅(分譲マンションなど)の場合は、管理組合等の代表者が申し込んでください。期間中に申し込みのできない場合は、横浜防衛施設局へ問い合わせを。なお、防音工事は国の補助金交付決定後でなければ着手できません。
▽横濱防衛施設局事業部施設対策第3課住宅防音第4係(☎045・211・7138)。

●消防運営審議会委員を募集

▽対象 市内在住で、4月1日現在満20歳以上の、消防に関心のある方。公務員等公職にある方は除きます。▽内容 消防行政の運営に関する重要事項を調査・審議。任期は8月1日~平成17年7月31日(2年間)
▽定員 2人 ▽応募方法 所
▽同課(☎231・0355)。

●児童手当の現況届の提出(6月30日まで)

現在児童手当を受けている方は、6月30日までに児童手当現況届を提出してください。届出用紙は6月初旬に市から郵送されます。同封の説明書を確認し、児童福祉課へ郵送で提出してください(持参可)。提出がない場合、6月分以降の手当が差し止めになるのでご注意ください。
▽現況届に必要なもの ①厚生年金等に加入している方は、現況届用紙の証明欄に勤務先で加入の証明を受けてください。②今年1月2日以降本市に転入した方は、1月1日現在の住所地の市区町村発行の「平成15年度児童手当所得証明書」を添付してください。③公務員の方は勤務先にお問い合わせを。
▽児童福祉課(内456)。

市長への手紙 市政運営の参考に

「市長への手紙」は、市政運営の参考にさせていただくとともに、お返事をする事でみなさんのご理解・ご協力を得ていただくための制度です。

●最近の手紙から

平日に市役所に出向かなくて、さまざまな施設の申し込みがインターネットでできるようになって欲しい(40代 男性)
インターネットによる利用予約につきましても、個人情報保護対策、ハードウェアの更新時期等を考慮に入れ、平成16年度を目標に導入を計画しております。

●その後のミニバス導入計画

比較的、細い道でも走行できるようにミニバスで、市施設を巡回してくれると便利です。ミニバス導入計画を教えてください(30代 男性)
今年の秋ごろにミニバス(コミュニティバス)を試験的に走らせる予定です。住宅街など狭い道路を走ることができないマイクロスズ程度は小さいもので、市役所から海老名駅、国分南

官製はがき・封書の投稿も受付ます

「市長への手紙」は、市役所、各コミセンなど市の施設へ備えて付けていますが、官製はがきや



「小さな親切」を読んで

記事内容は、川井市長さんの東北大学での先輩であり、東京大学総長の茅 誠司先生が、昭和38年、同大学卒業式の総長告辞で提唱した「小さな親切」について、川井市長さんが自らの体験を通して、さりげなく語られたも

思いをつくままに

先日、姉妹都市である白石市の広報を読んでいたら、川井市長さんの「せせらぎトーク」が目にとまりました。このコラムを読んだとき感じたり、思い出したりしたことを中心に書いてみました。

のです。

「小さな親切」については後述しますが、まず、お伝えしたいことは、東京大学出身者でない茅先生が、同大学の総長に就任されたことは異例中の異例であること。また、当時の東大総長の告辞というものは、川井市長さんの言葉にもありましたが、天下を論ずるような難しい理論を述べることが多かった中で、茅先生は平易でわかりやすく「やろうと思えばできる親切は、みんなで勇気をもって行おう!」といった内容。新聞のコラムなどでも紹介され、「小さな親切運動」として拡がっていったのです。
この「小さな親切運動」こそ、今の時代に最も大切なことなのに、今の社会は残念ながら「小さな親切、大きなお世話」という風潮が悲しいことです。ちなみに、茅先生は私の母校厚木高校の先輩でもあります。まさに縁は異なものですね。

海老名市長 亀井 英一